

第283号 2011年6月1日  
弘前大学総務部総務課

### 学術講演会・研究発表会・公開講座

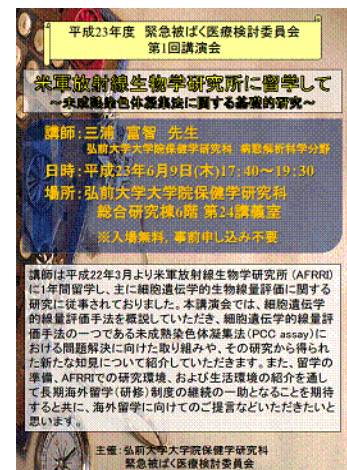
弘前大学緊急被ばく医療検討委員会 平成23年度 第1回講演会のお知らせ

米軍放射線生物学研究所 (The Armed Forces Radiobiology Research Institute (AFRRI)) に留学し、主に細胞遺伝学的生物線量評価 (cytogenetic biodosimetry) に関する研究を行った本学教員による講演会を企画いたしました。

細胞遺伝学的線量評価手法を概説し、細胞遺伝学的線量評価手法の一つである未成熟染色体凝集法 (premature chromosome condensation (PCC) assay) における問題解決に向けた取り組みや、その研究から得られた新たな知見について、ご講演いただきます。また、研究成果に加え、留学の準備、AFRRIでの研究環境、および生活環境を紹介いただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 6月 9日 (木) 17:40～19:30  
(質疑応答を含む)
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科  
総合研究棟6階 第24講義室
3. 講演内容：「米軍放射線生物学研究所に留学して  
～未成熟染色体凝集法に関する基礎的研究～」
4. 講 師：弘前大学大学院保健学研究科 病態解析科学分野  
三浦 富智 先生
5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会



※事前のお申し込みは不要です。どなたでもご参加できます。

**問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科総務グループ  
電 話：0172-39-5905  
E-mail：[jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 「白神の植物標本作成講座」参加者募集のお知らせ

植物の標本作成を体験したい方を募集します。標本は、本物の動植物の形態や分布の証拠として用いられる研究用の資料です。適当な処理をおこなうことで長く保存でき、過去の動植物の有様を知ることにも可能となります。

白神の植物標本作成講座では、楽しく本格的な植物の標本作成を学べます。白神自然観察園内で植物を採取した後、植物分類群ごとにポイントを踏まえて植物標本の作成方法を学びます。インストラクターがわかりやすく作り方を説明するので、難しそうと腰の引けた方も心配いりません、標本作りを通して大学の研究の一端に触れられるまたとない機会です。皆様の参加をお待ちしています。

1. 日 時：2011年 6月18日（土） 10:00～15:00
2. 場 所：弘前大学白神自然観察園
3. 参加定員：20名
4. 参加費：100円（保険加入料）

※事前予約制です。また、昼食は持参して下さい。

弘前大学から無料送迎バスあり（集合 9:00、解散17:00）

※本講座は、弘前大学白神自然環境研究所・弘前大学教育学部ラボバスプロジェクト・女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）「つがるネッッサンス！地域でつなぐ女性人才」が主催します。

**問い合わせ先：** 弘前大学男女共同参画推進室  
電 話：0172-39-3888  
E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
U R L：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

平成23年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程・後期課程 大学院進学ガイダンスのお知らせ
---

弘前大学保健学研究科では、2011年 8月27日（土）に博士前期課程（定員25名）及び博士後期課程（定員9名）の選抜試験を行う予定です。

この度、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、保健学研究科博士前期課程・後期課程の教育内容や学習環境について紹介する大学院進学ガイダンスを下記の日程で企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時：2011年 6月24日（金） 17:40～18:50
2. 会 場：弘前会場・弘前大学保健学研究科 総合研究棟6F 第24講義室  
八戸会場・弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1F）  
※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。
3. プログラム
  - (1) 開会にあたって 保健学研究科長 對馬 均
  - (2) 「大学院進学で得たもの、目指すもの」  
生体機能科学領域 細胞分子生物科学分野 博士前期課程2年 中野 光
  - (3) 「博士号を目指して」  
健康支援科学領域 健康増進科学分野 博士後期課程3年 松尾 泉
  - (4) 大学院で学ぶことの意味  
医学研究科 統合機能生理学講座 准教授 山田 勝也
  - (5) 募集要項について 保健学研究科学事委員 伊藤 巧一
  - (6) 質疑応答

4. 申込み方法：参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、6月17日（木）までに下記問い合わせ先にお申込みください。

**問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科学務グループ  
電 話：0172-39-5913  
FAX：0172-39-5912  
E-mail：[jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp)

**ひろさき産学官連携フォーラム 平成23年度基調講演会開催のお知らせ**

『ひろさき産学官連携フォーラム』は、弘前地域における産学官の交流・連携を促進し、新商品・新産業の創出により地域産業の発展を図ることを目的としています。

弘前市商工労政課と弘前大学地域共同研究センターが共同で事務局を運営し、企業活動や研究活動の参考になるような講演会・セミナーを定期的を開催し、会員の知見、技術の向上と会員相互のネットワークの構築を図り、調査研究開発を促しています。

この度、ひろさき産学官連携フォーラム平成23年度基調講演会を下記により開催いたしますので、ご案内申し上げます。

1. 日 時：2011年 6月29日（水） 15：40～
2. 会 場：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階「エメラルドの間」
3. 内 容：講演会 15：40～17：20

演 題 「地域の食・農ビジネスについて」

講 師 株式会社キースタッフ 代表取締役 鳥巢 研二 氏

<講演概要>

地域の農産物を活用した加工特産品の開発・販売の秘訣から地域の食・農ビジネスの今後の展望についてお話し頂きます。

<交流会> 17：30～19：00

※会 場：12階「スカイバンケット」

会 費：3,000円（当日会場にて申し受けます。）

講演会のみ参加は無料となっております（事前登録制）

詳 細：<http://www1.cjr.hirosaki-u.ac.jp/sinchaku/23/soukai23/23soukai.html>

※上記アドレスより申込用紙をダウンロードの上、6月24日（金）までにお申し込み下さい。

**問い合わせ先：** ひろさき産学官連携フォーラム事務局  
弘前市商工労政課仕事おこし・雇用支援室（担当：今）  
電 話：0172-32-8106  
FAX：0172-35-1105  
E-mail：[tak2-kon@city.hirosaki.lg.jp](mailto:tak2-kon@city.hirosaki.lg.jp)

弘前大学地域共同研究センター（担当：神山）  
電 話：0172-39-3990  
FAX：0172-36-2105  
E-mail：[hiro-cjr@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro-cjr@cc.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」講演会（再掲）  
「日米の教育研究制度の比較と女性研究者の役割～医学生物学を中心に～」開催のお知らせ

弘前大学男女共同参画推進室では、女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）として、ノースウェスタン大学の檜橋敏夫教授をお招きし、第3回講演会を下記のとおり開催します。

性別にかかわらず、意欲のある学生が力をつけ、キャリアを積み、研究者として活躍するには？日本の大学が抱える課題と求められる解決策は？日米の教育研究制度の違いや、豊富なお自身の経験など、世界の第一線で活躍を続けておられる檜橋先生のお話からは、未来に向けた多くのヒントを得られることでしょう。

研究者を目指している人、留学を考えている人、視野を広げたい人・・・気軽にお話をうかがえるようにディスカッションの時間も設けます。直接お話できるまたとないチャンスです。お気軽にご参加ください。

1. 日 時：2011年 6月17日（金） 13:30～15:00
2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階「八甲田ホール」
3. 参加費：無 料
4. 講 演：日米の教育研究制度の比較と女性研究者の役割  
～医学生物学を中心に～
5. 講 師：ノースウェスタン大学  
医学部分子薬理学生物化学科  
農学博士 檜橋 敏夫 教授

＜講師プロフィール＞

昭和23年東京大学農学部獣医学科卒業。東大教員を経た後、教育研究活動の場をアメリカに移して約50年。東大で始めた殺虫剤作用機構研究はライフワークとなっている。また、フグ毒のナトリウムチャンネル阻害作用の発見は、その後のチャンネル研究の端緒として一世を風靡した。イオンチャンネル薬理学の第一人者であり、多くの賞を受賞している。現在もなお、第一線で活躍中であり、日本からの研究者も含め数多くの優秀な研究者を育てている。著書・論文約500。

※無料の託児室をご用意しております。  
(6月9日(木)までに下記宛メールでお申し込み下さい。)  
ご来場の際は、公共機関をご利用ください。



**問い合わせ先：** 弘前大学男女共同参画推進室  
電 話：0172-39-3888  
FAX：0172-39-3889  
E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」ウェブサイト  
URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/>

## 学内掲示極

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電 話：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

[http://www.janu.jp/active/7janu\\_quarterty\\_report.html](http://www.janu.jp/active/7janu_quarterty_report.html)

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)、Fax:37-6594、内線：3012